



# 2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月19日

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

# 2016年3月期 第2四半期決算概況

## 2016年3月期 通期業績見通し

# 決算概況(連結)

(単位：百万円)	2015年度2Q	利益率	(参考) 前期比	(参考：単体) 2014年度2Q	利益率
売上高	9,705	-	+7.3%	9,048	-
売上総利益	1,889	19.5%	+31.6%	1,435	15.9%
営業利益	660	6.8%	+90.2%	347	3.8%
経常利益	672	6.9%	+86.8%	359	4.0%
当期純利益	401	4.1%	+92.2%	209	2.3%

## 【売上高】

- 銀行業や保険業などの金融業向けの大型システム開発案件が堅調に推移

## 【利益】

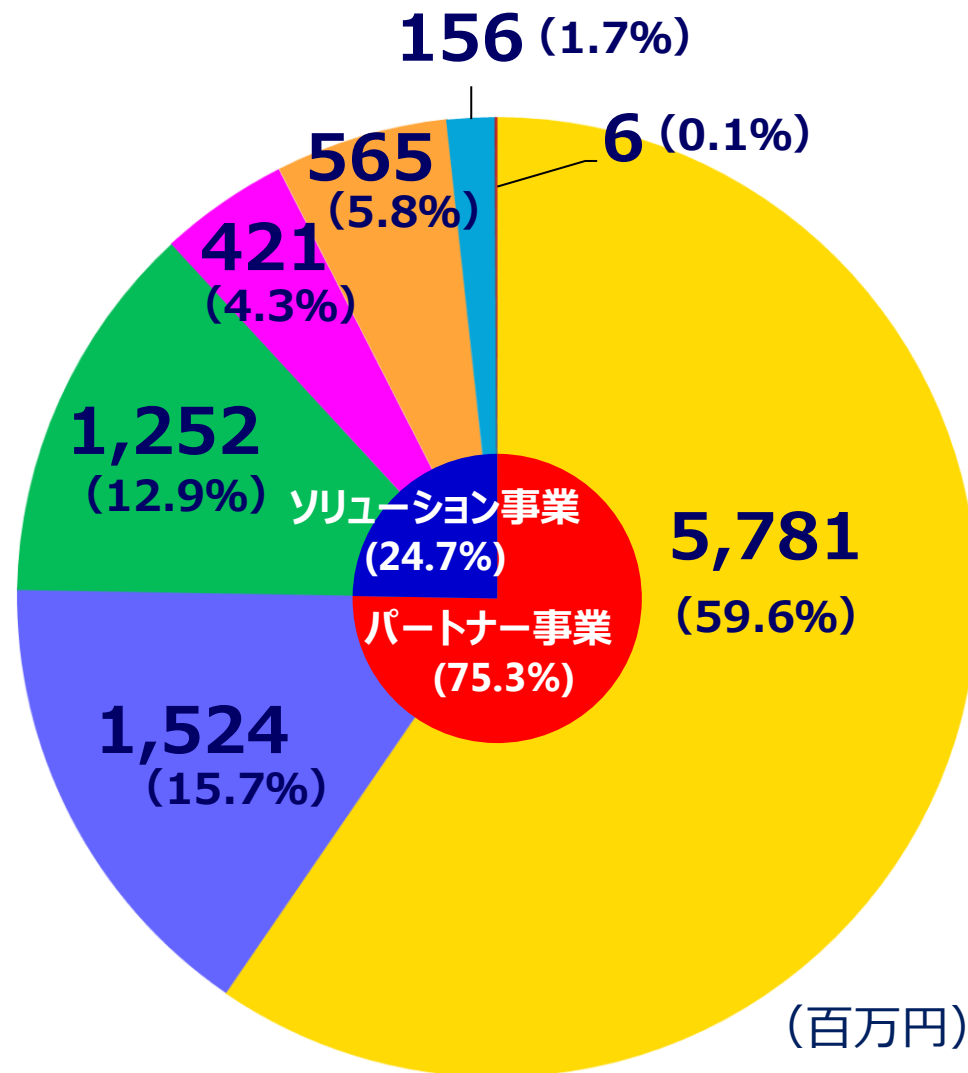
- 稼働率の向上
- 不採算プロジェクト発生を抑止

# 事業別売上高概況

2015年度2Q売上高実績

9,705百万円

- アプリケーション開発事業（金融）
- アプリケーション開発事業（法人）
- ITインフラ構築事業
- ネットワークソリューション事業
- ソリューション事業（他社製品）
- ソリューション事業（自社製品）
- その他



- プロジェクトマネジメントの高度化を継続、  
低収益プロジェクト発生を抑止

- 積極的な採用を継続、特に経験者採用に注力

- ソリューション型ビジネスを推進



- ◆ ストレスチェック支援ソリューションM-Check+(エムチェックプラス)を販売開始

## ● TDCネクストを連結子会社化

- ◆ TDCソフトグループとして事業を推進、同社との事業連携を強化し重要性が増したことから連結子会社化

## ● PMP資格取得推進の継続

- ◆ PMP取得者累計397名、目標500名

## ● 情報セキュリティの強化

- ◆ 「TDC-CSIRT」を立上げ、日本シーサート協議会に加盟  
高度化するサイバー攻撃を予防し、お客様に安心・安全なシステムを提供する



## ● CMMIにそったプロセス改善の実施

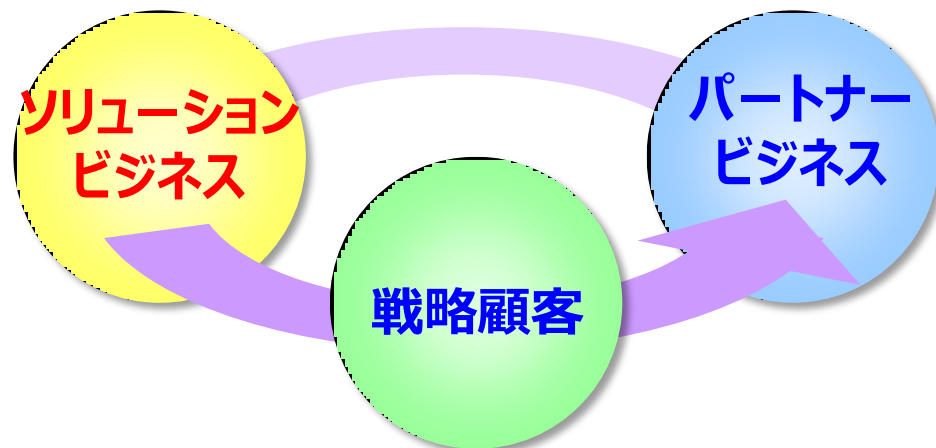
- ◆ 2015年度内のCMMIレベル3達成を目指し改善を実施

# 業績見通し(連結)

(百万円)	2015年度			(参考：単体)	(参考：単体)
	通期	増減額	増減率	2014年度通期	2013年度通期
売上高	21,000	+1,569	+ 8.1%	19,430	18,997
営業利益	1,300	+176	+ 15.8%	1,123	805
経常利益	1,300	+146	+ 12.7%	1,153	819
当期純利益	780	+211	+ 37.2%	568	415
EPS	129.51円			93.65円	68.12円
1株当り配当金 (年間)	28円			28円	25円

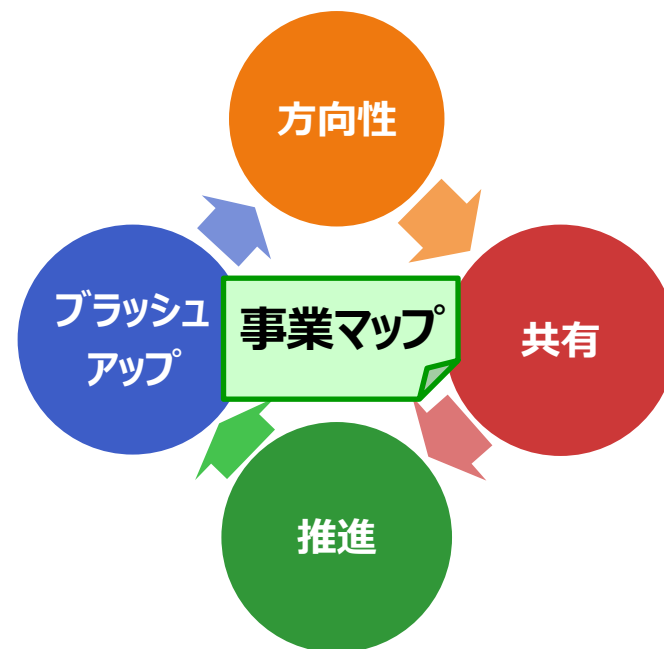
\* 2015年7月14日に公表した通期業績予想からの変更はございません。

計画期間：2013年度～2015年度



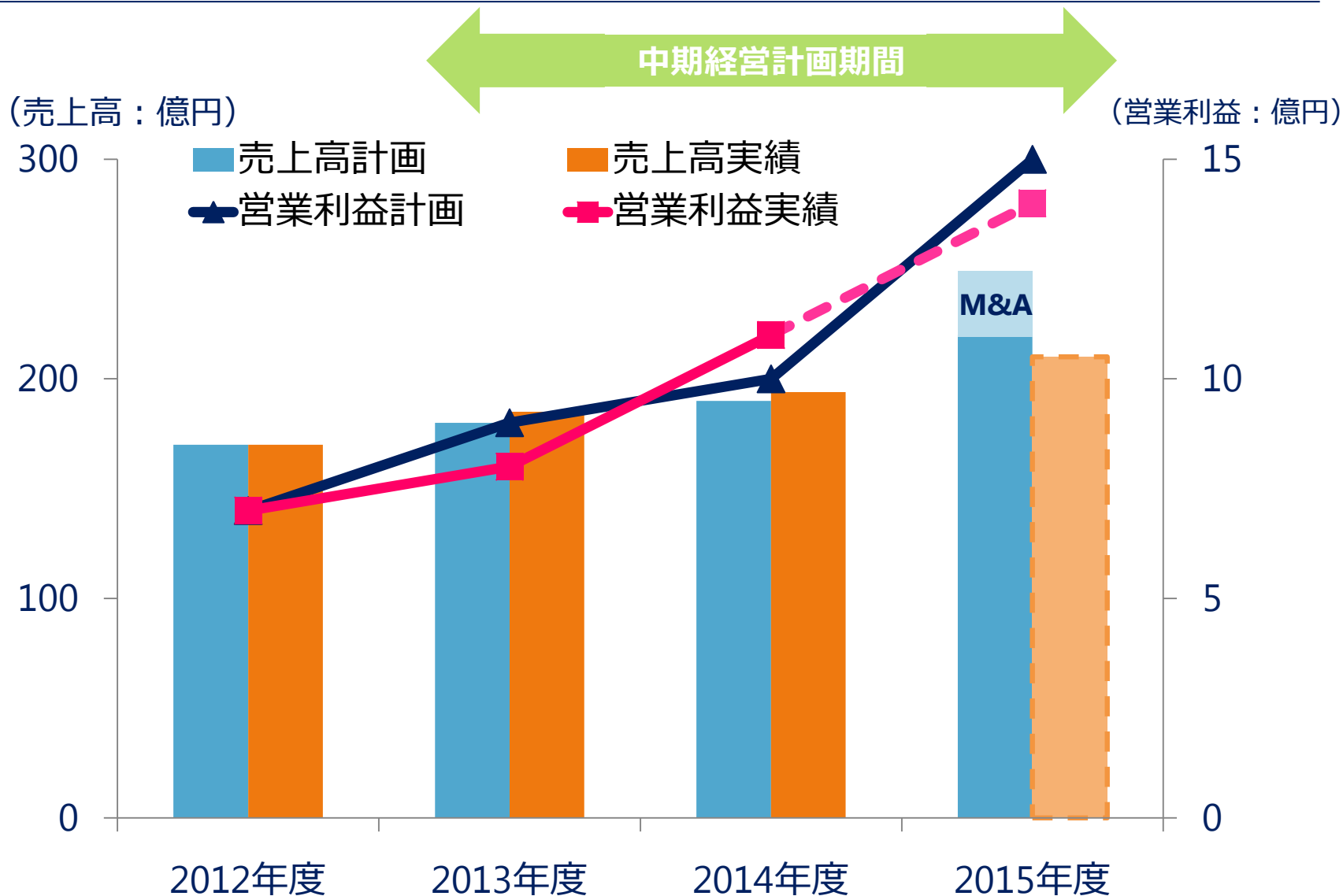
パートナービジネスとソリューションビジネスで相互にシナジーを発揮させながら拡大を目指す戦略を策定

強化・拡大する事業分野ごとの中期的な成長戦略を策定。戦略を全社的に可視化・共有しながら、推進するとともに、市場変化に応じブラッシュアップしていく。





# 中期経営計画



## <先行きの見通し>

金融特需・マイナンバー特需や、新技術によるICT活用領域拡大により市場は変化しながらも**2020年の向けて拡大が持続**。

今後、日本の継続的な「**人口減少**」が、IT市場に歴史的な転換をもたらすと予測。

## 労働人口の減少

### 市場（顧客）への影響

- 人口減少に伴いICTによる生産性向上に投資
- 新技術によるICT活用領域拡大により市場は変化・拡大

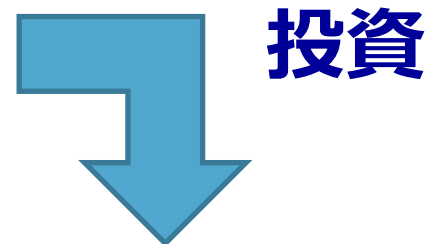
### S I e rへの影響

- 人口減少に伴い社員・B Pリソースの確保がより困難な状況になる
- 先進的なSIerは「脱マンパワー」を進めパッケージやクラウドへと進化

## 収益確保と財産（人材、知財）づくり

### 収益確保

- 主体的なビジネスの拡大
- 収益率の向上と事業規模の拡大
- 市場縮小へのリスクヘッジ



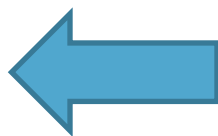
### 人材

- 事業拡大に必要な人材の確保・育成

### 知財

- 新ビジネスモデルの創出
- 新製品・サービスへの知財の有形化
- 周辺事業への領域拡大

将来の  
財産



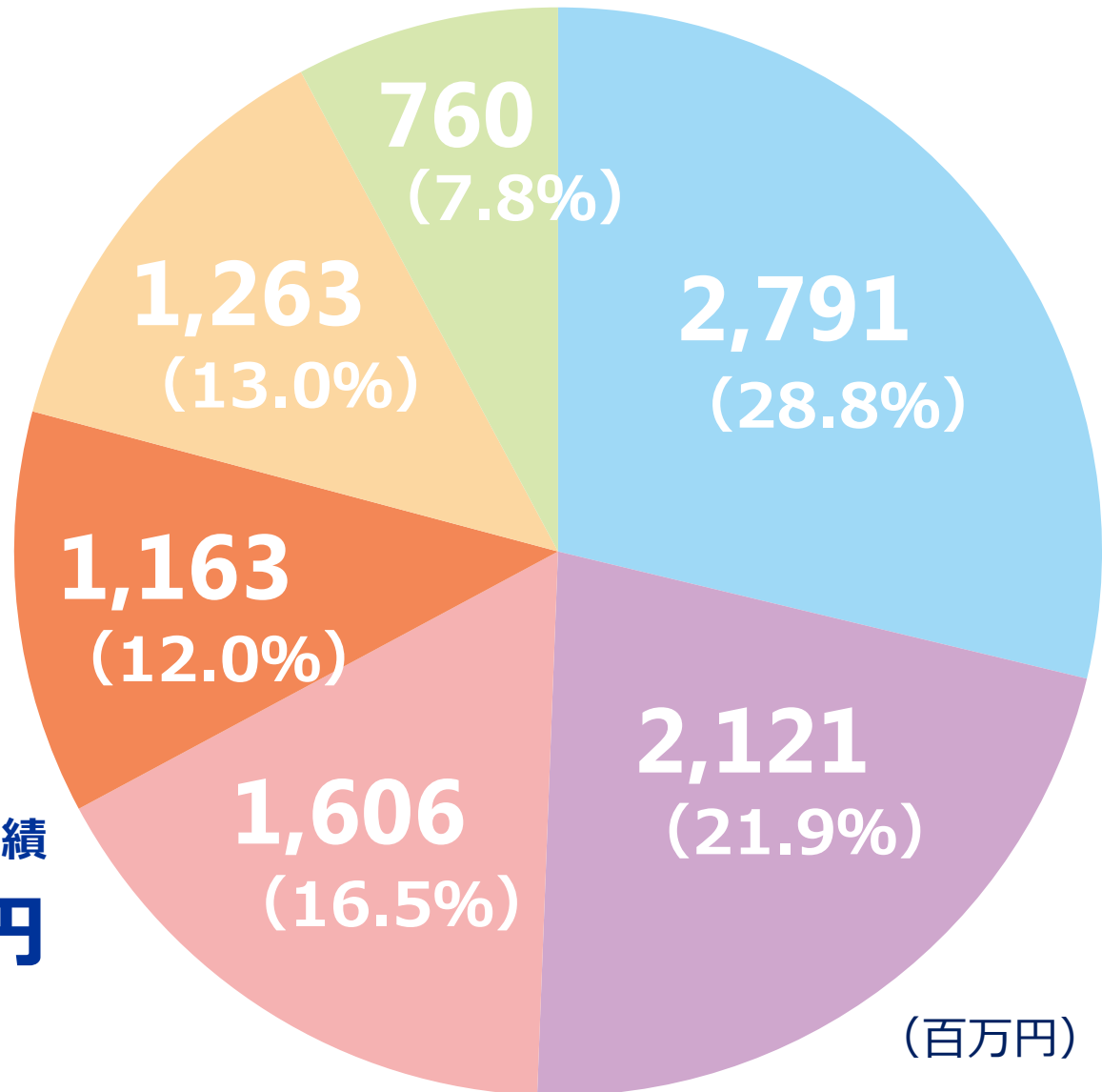
# 2016年3月期 第2四半期決算内容

# 損益計算書

(単位：百万円)	2015年度2Q (連結)	(参考：単体) 2015年度2Q	(参考：単体) 2014年度2Q	単体増減率
売上高	<b>9,705</b>	9,426	9,048	+4.2%
労務費	<b>4,030</b>	3,772	3,670	+2.8%
外注費	<b>3,645</b>	3,690	3,861	△4.4%
その他経費	<b>378</b>	362	407	△11.1%
仕掛増減高	<b>237</b>	209	326	△35.9%
売上原価	<b>7,815</b>	7,617	7,612	+0.1%
売上総利益	<b>1,889</b>	1,809	1,435	+26.0%
販売費及び一般管理費	<b>1,229</b>	1,154	1,088	+6.1%
営業利益	<b>660</b>	654	347	+88.6%
営業外収支	<b>12</b>	12	12	△4.0%
経常利益	<b>672</b>	666	359	+85.3%
特別損益	-	-	-	-
税引前当期利益	<b>672</b>	666	359	+85.3%
四半期純利益	<b>401</b>	398	209	+90.7%
EPS	<b>66.74</b>	66.22	34.27	+90.2%

# 最終顧客別売上高概況

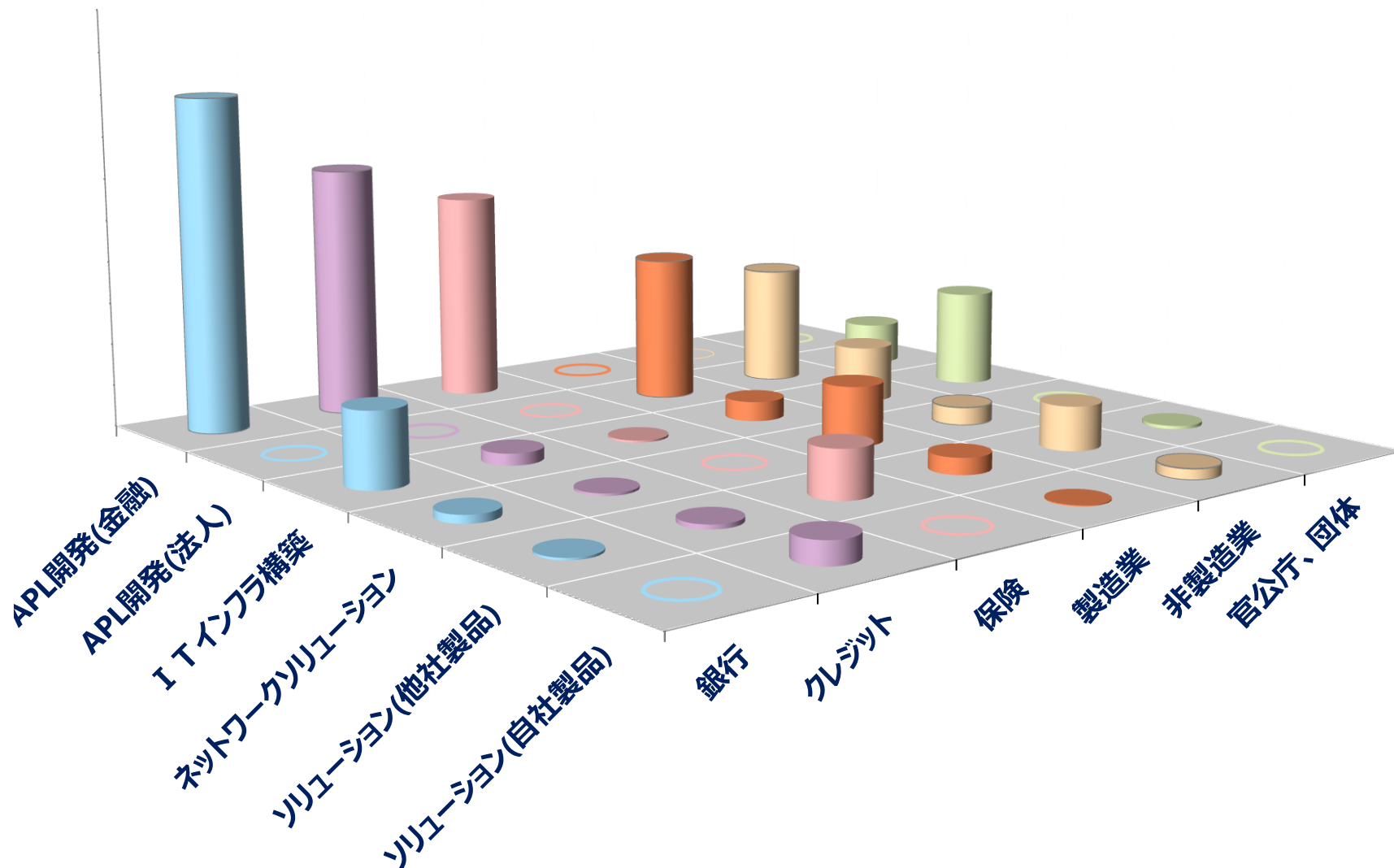
- 銀行
- クレジット
- 保険
- 製造業
- 非製造業
- 官公庁、団体



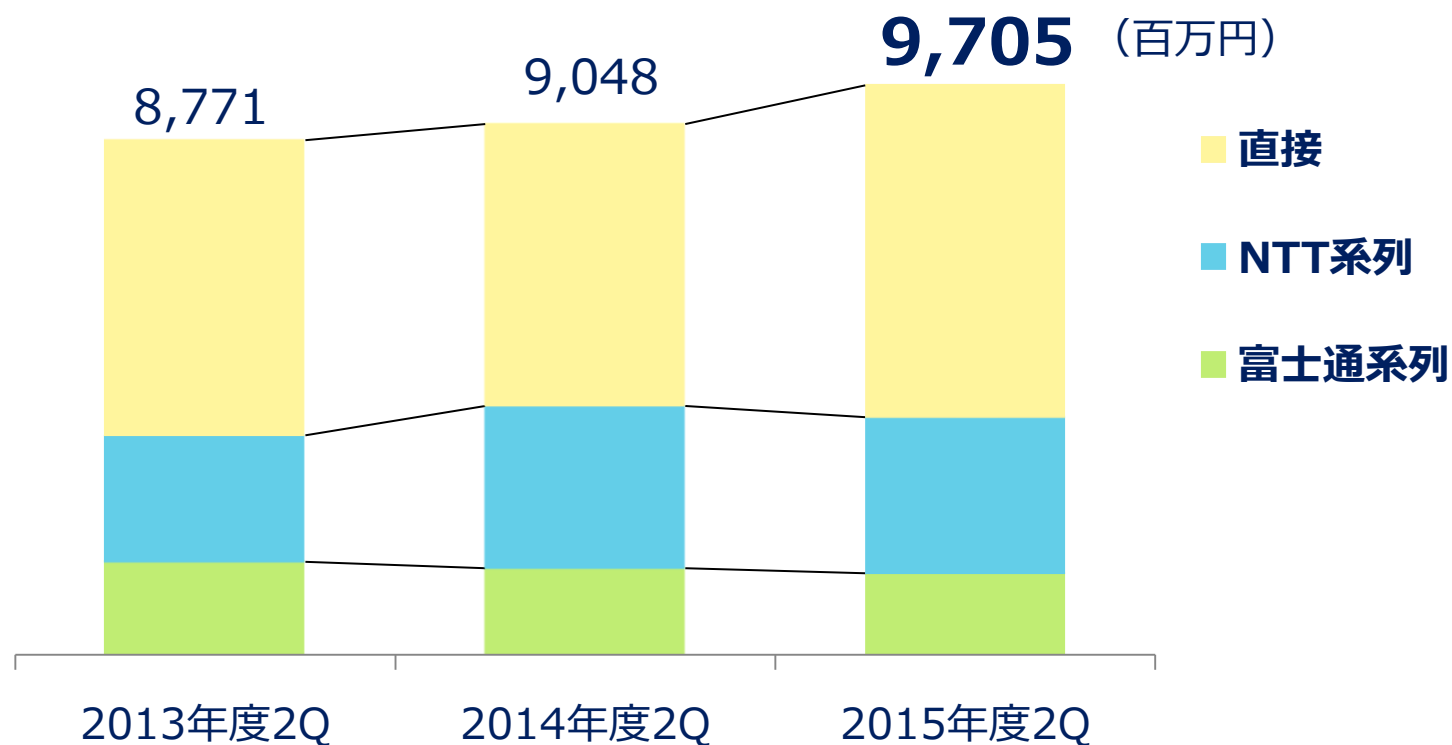
2015年度2Q売上高実績  
**9,705百万円**

(百万円)

# 事業別売上高概況（最終顧客別）



# 取引先別売上高の状況



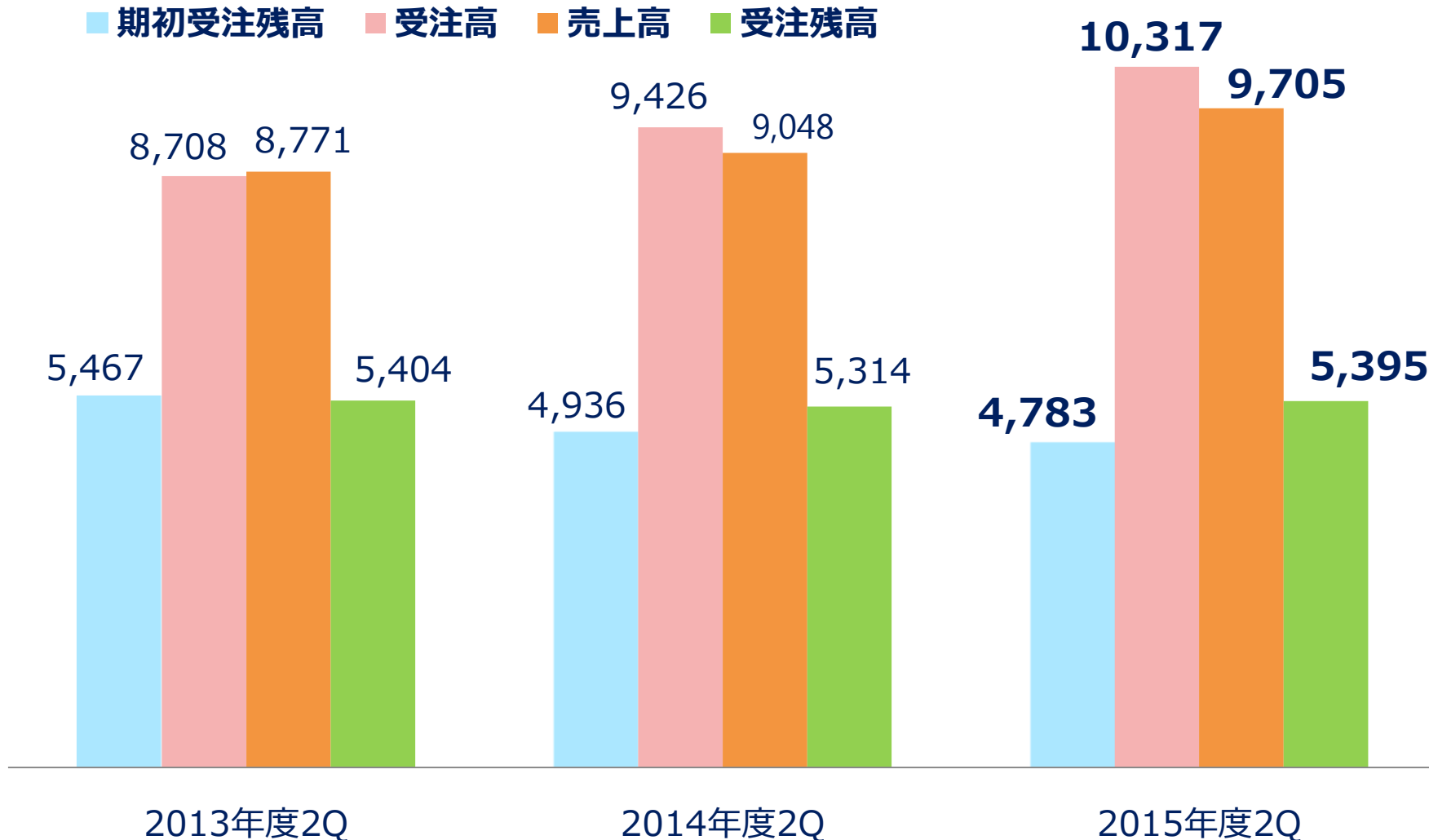
(百万円)	2013年度2Q		2014年度2Q		2015年度2Q	
	(参考：単体)	構成比	(参考：単体)	構成比		構成比
直接	5,030	57.3%	<b>4,805</b>	54.8%	<b>5,659</b>	58.3%
NTT系列	2,156	24.6%	<b>2,765</b>	31.5%	<b>2,658</b>	27.4%
富士通系列	1,584	18.1%	<b>1,478</b>	16.9%	<b>1,390</b>	14.3%
合計	8,771	100%	<b>9,048</b>	100%	<b>9,705</b>	100%



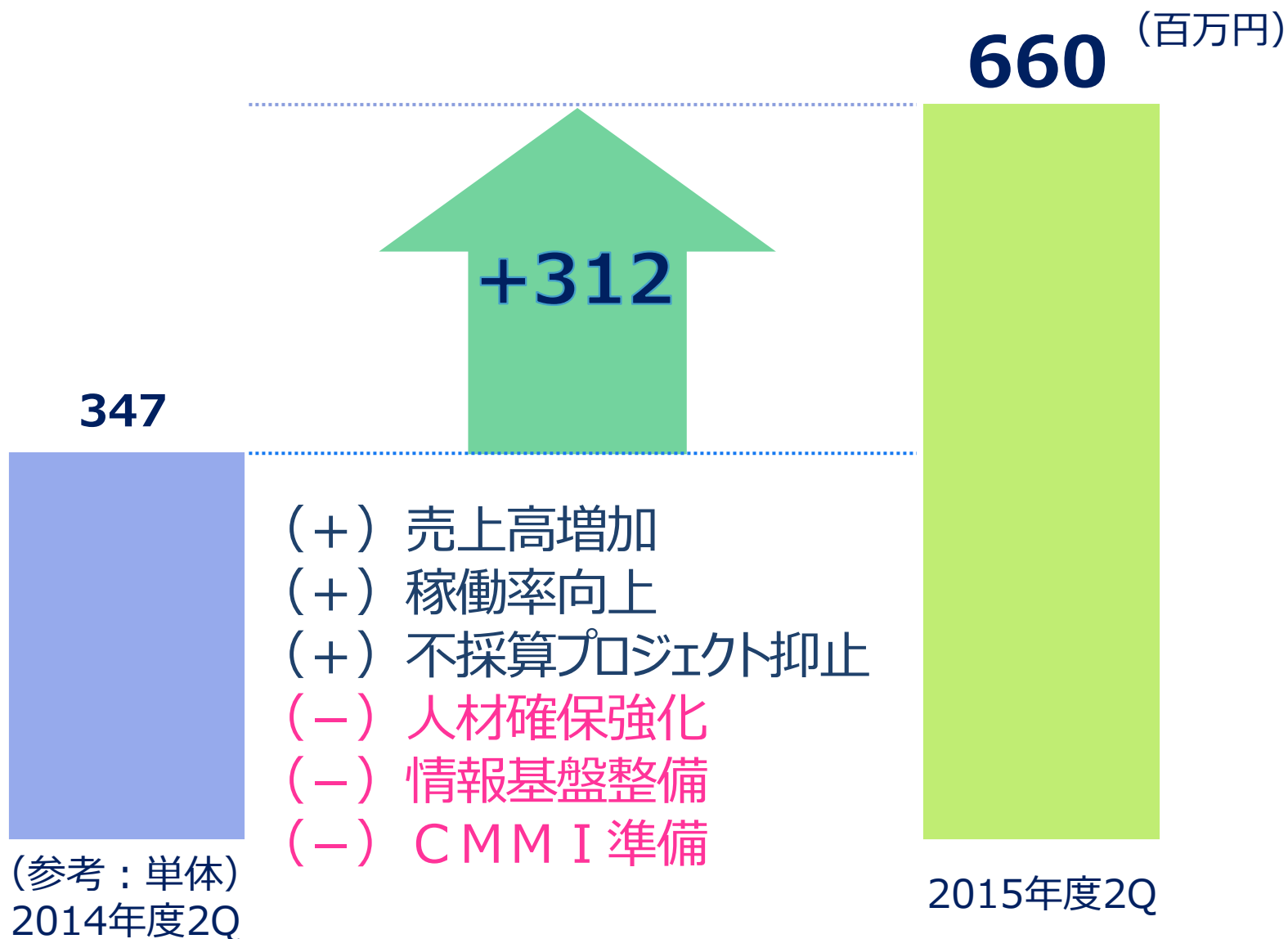
# 受注高・受注残高の状況

(百万円)

■ 期初受注残高 ■ 受注高 ■ 売上高 ■ 受注残高



# 営業利益分析（前年同期比）



# 貸借対照表 (主な科目)

(百万円)	2015年度2Q	(参考：単体) 2015年度2Q	(参考：単体) 2014年度末
資産合計	<b>10,960</b>	10,713	10,911
流動資産	<b>9,191</b>	8,924	9,114
現金及び預金	<b>5,025</b>	4,882	4,776
売掛金	<b>3,057</b>	2,976	3,461
たな卸資産	<b>502</b>	473	264
その他	<b>606</b>	591	611
固定資産	<b>1,768</b>	1,789	1,797
有形固定資産	<b>163</b>	157	172
無形固定資産	<b>142</b>	141	158
投資その他	<b>1,463</b>	1,490	1,466
負債合計	<b>3,421</b>	3,345	3,731
流動負債	<b>3,222</b>	3,148	3,486
買掛金	<b>708</b>	714	670
短期借入金	<b>476</b>	476	401
未払法人税等	<b>285</b>	285	279
未払費用	<b>1,359</b>	1,311	1,440
固定負債	<b>199</b>	196	245
純資産合計	<b>7,538</b>	7,368	7,179
負債純資産合計	<b>10,960</b>	10,713	10,911
自己資本比率	<b>68.8%</b>	68.8%	65.7%
1株当たり純資産	<b>1251.65</b>	1,173.56	1,192.13

<http://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトウェアエンジニアリング株式会社の将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。